

令和4年度 学校関係者評価報告【案】(北九州保育福祉専門学校)

1 教育理念

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	令和3年度		令和4年度	
		全体	項目ごと	全体	項目ごと
学校の理念・目的・人材育成像は定められているか	適切	適切	適切	ほぼ適切	
学校における職業教育の特性は何か	適切		適切		
社会経済のニーズなどを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	ほぼ適切		ほぼ適切		
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが保護者等に周知されているか	ほぼ適切		ほぼ適切		
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	適切		ほぼ適切		
コメント記入欄	<p>○本校の良さを外部向けに見発信する方法を探りチャンスを逃さないようにしたい。</p> <p>○北九州京築地域において保育者に求められることや役割を改めて知る必要がある。</p> <p>○本校の専門性を高めるために外部講師を招聘しての実践演習等を実施していることや他の養成校との違いをオープンキャンパス等で伝えており、本校の特色や理念に共感して進学先を決めて入学している学生が多数いた。</p> <p>○上記、以下全評価項目などについて年度当初に職員会議などで確認し、実践に向けて具体的な方法を話し合う時間・場が必要だと思います。私自身昨年度は何もわからないままスタートしてしまったことを反省しております。</p> <p>○保育者全体の志望が落ち込み傾向が出ている。</p> <p>○樹形図のディプロマポリシーでは「躍動」「真摯」「情熱」で達成目標があげられているため、アドミッションポリシーでも項目を3つにするとわかりやすい。</p>		<p>○上記、以下全評価項目について、年度当初に職員会議などで確認し、評価を向上させるための具体的な実践方法を話し合う時間及び場が必要だと思う。評価の根拠などが分からない項目がある。</p> <p>○即実践力を身につけるよう努力しているが、保育のベースの学びに対して難しい学生が年々多くなっている現状。</p> <p>○社会経済や保育の現場の求める人材像をうかがう機会ががなく、学校の指導方針が取り残されていないか不安。</p> <p>○他の養成校はチャイルドマインダーや折り紙検定など附属的な民間資格も取らせている。</p>		

【改善のための方策】

コメント記入欄	<p>○学生のありのままを受け止めプロへの道筋を事あるごとに伝え続けたい。現状から目指すべき方向性が定まるよう学生とのコミュニケーションをとることを大事に関わり免許・資格取得を後押しする。</p> <p>○本校の職業人育成の特色や教育方針を学生及び保育現場に向けて積極的に伝える。</p> <p>○年度当初、評価項目令和4年度の指導の重点事項などの確認と実践事項の作成。年度中期、評価項目令和4年度の指導の重点事項の達成度の確認と評価などが必要と思う。</p> <p>○もう教員や教育内容のすばらしさは出尽くしているの、これ以上は思いつかない。</p> <p>○教育の素養となる内面での人格についてよい表現はないか考えたい。</p> <p>○今後も本校の理念や人材育成等積極的に伝えてゆくことで学生獲得にもつながると考える。</p>	<p>○年度当初、評価項目・今年度の指導の重点事項等の確認と実践事項の作成。年度中期、評価項目・今年度の指導の重点事項等の達成度の確認と評価が必要。</p> <p>○保育を目指す学生の不足、少子化による全体学生数の低下、コロナ禍による貧困化等、様々な要因の中で、学生数確保のために、募集に関しては違う視点での捉え方が必要なのではないか。</p> <p>○本校でも保育士、幼児以外の検定・資格取得の道があれば良い。広報活動でのアピール効果も期待できる。</p>
---------	--	---

【関係者評価】

教育理念に関する評価【案】	評価項目	チェック欄	<p>入学者や保護者への教育理念や方針・特色などは、理解と浸透はしていると考え。今後も伝える手段や機会を継続して実施することが肝心である。</p> <p>職員全体で、今一度本校の教育理念の内容を再確認し、今の時代の潮流にあった具体化策について論議する必要がある。</p>
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

2 学校運営 及び 重点目標

【現状と問題点】

令和3年度

令和4年度

評価項目	項目ごと	全体	項目ごと	全体
目的等に沿った運営方針が策定されているか	ほぼ適切	ほぼ適切	ほぼ適切	ほぼ適切
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	ほぼ適切		ほぼ適切	
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	ほぼ適切		ほぼ適切	
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	ほぼ適切		ほぼ適切	
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制は整備されているか	ほぼ適切		ほぼ適切	
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	ほぼ適切		ほぼ適切	
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	ほぼ適切		ほぼ適切	
コメント記入欄	<p>○学生として当然求めるべきエアコンの温度調節や室内環境の不備等がなかなか改善されにくく、窓の開閉すらままならない。改善計画を明確にすることで納得がいくのではないかと。</p> <p>○情報共有のための学園ネットの活用。またそのためのホルダー内の整理が必要。教育活動等の情報公開の方法はどのような手段が用いられているか不透明。</p> <p>○学校のHPの改善。</p> <p>○運営方針は事業計画等がされているか不明。</p> <p>○Wifi機能がスムーズに動かないこと、これは設置工事に問題がある。点検して改善を。リハと金額はほぼ同じなのに。</p> <p>○ようやくWifiの設置が終了したが、私たちが教材研究に時間を取る必要性を感じた。</p> <p>○振り返ると4月以降、Wifiは一度も満足に動いたことがない。調査が必要。</p>		<p>○運営組織や意思決定機能の規則等はおおよそわかるが、明確であるかと問われると自信がない。出勤関係のファイルが4つあり、管理や入力に時間がかかる。</p> <p>○情報システム化において事務室タブレットの使用など新しい試行が始まっている。より充実したシステム化を目指す必要がある。</p> <p>○26号室、11号室等の窓に鍵が掛からない。災害時の学生の身の安全を考えると、厳しいと思う。</p>	

【改善のための方策】

コメント記入欄	<p>○主軸をどこに置くのか。教育機関である学校の校是に見合った形での改善を求めたい。</p> <p>○本校の教育活動や日々の取組みを高校生に加えて卒業生に向けて発信しても良いのではないかと、また、同窓会組織を情報発信に活用できないか。</p> <p>○学校HPの更新を広報のどなたが担当されているのか、ここ数年来HPの更新の必要性が会議のたびに上がっているけど変わらないのはなぜでしょうか？</p> <p>○Wifi業者を呼び出して内容と確認と業者の責任の場合、改善要求を行うべきだ。まだうまくいったためがない。</p> <p>○電子機器の拡大により様々なOSや媒体があるために、外部への講習会の参加も検討したい。ネット上の知識だけでは限界があると思う。</p>	<p>○年度当初、確認資料等について、職員全員で確認する機会が必要。</p> <p>○改善計画を立て、毎年少しでも良くなることに期待したい。</p> <p>○今後は広報室でもタブレットを使用して、事務室や各教員への伝達や報告が円滑に進められると効果的。</p>
---------	--	--

【関係者評価】

学校運営及び重点目標に関する評価【案】	評価項目	チェック欄	学校運営自体はほぼ適切に実施されているが、改善に向けての学校運営・計画・実施については、明瞭にする必要がある。	職員間の共通理解や協議の必要性を感じる。
	適切			
	ほぼ適切	○		
	やや不適切			
	不適切			

3 教育活動

【現状と問題点】

令和3年度

令和4年度

評価項目	項目ごと	全体	項目ごと	全体
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針などが策定されているか	適切	適切	適切	適切
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	適切		適切	
学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	適切		適切	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点にたったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	適切		ほぼ適切	
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しなどが行われているか	適切		適切	
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	適切		適切	
授業評価の実施・評価体制はあるか	適切		適切	
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	ほぼ適切		ほぼ適切	
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	適切		適切	
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	適切		適切	
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	ほぼ適切		適切	
関連分野に関する業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するマネジメントが行われているか	ほぼ適切		適切	
関連分野における先進的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	ほぼ適切		ほぼ適切	
教員の能力開発のための研修等が行われているか	ほぼ適切		やや不適切	
コメント記入欄	<p>○養成校と実習施設との評価の基準や学生への指導の在り方など連携強化が課題である。</p> <p>○保育・幼児教育に係る法律や専門分野の情報は変化のスピードと内容が著しい。しかし、教員自身が自己の課題を把握し、研鑽する時間と費用は不足している。</p> <p>○教員が2名増えたことで業務負担の軽減となった。</p> <p>○学科の中心になるマネージャー的な存在の方が突然不在となった。</p> <p>○旧学科長が退任し、大きく校務分掌が変わった。現在はリーダーシップの取れる教員に復帰していただいているが、次年度が不安。</p> <p>○現学科長と同じくらい教員をまとめ、引っ張っていくことのできる学科長を求める。一人一人の教員が他の部門でも活躍できるくらいの経験が必要と思う。</p>		<p>○職員の兼務と責任感によって何とか業務が保たれている状態。</p> <p>○研究費がないため、教員の専門領域に関する研修は実費。→ 誤った情報の為、会議の中で訂正される</p> <p>○成績評価・単位認定について学則で明記しているが、曖昧さを残しているため、判断に迷う点がある。</p> <p>○養成校と実習施設との評価の基準や学生の指導のあり方など連携強化とその場を設定する必要性を感じる。</p> <p>○人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保する。</p>	

【改善のための方策】

コメント記入欄	<p>○コロナ禍での実習施設との連携の在り方がなお一層必要と思われる。顔が見られる関係性が必要である。</p> <p>○人事に関しては、事務室がもっと動くべきである。教員サイドばかり動いている。</p> <p>○日本保育学会は学校から会費を負担していただいている。毎年5月に全国大会があるので、発表はしなくても参加だけでもしてはどうか。なお、参加費は10000円。</p> <p>○可能であれば、実習担当と担任とを分けていただきたい。新入生と教育実習Iとの指導時期が重なると学生対応が難しい。特に連休明けが…。他の教員にもサポートをお願いしているが実質的に担任が対応することが多々ある。</p>	<p>○学則を見直し、再検討する必要性あり。</p> <p>○コロナ禍の実習施設との密な連携の在り方。また、LGBT等学生等の個別の支援に関する情報共有の仕方を、当該学生・保護者の同意のもとに進めていく。</p>
---------	---	--

【関係者評価】

教育活動に関する評価【案】	評価項目	チェック欄	教育活動は全般的に適切に実施されているが、教員一人ひとりの負担軽減が必要と感じる。また時代にマッチする保育指導者へとなるために自己研鑽の時間と費用に投資が必要である。	全体的な評価は昨年と変わらないが、コロナ禍のため積極的な研修が出来てきていないと思われる。今後に期待する。
	適切	○		
	ほぼ適切			
	やや不適切			
不適切				

4 学修成果

【現状と問題点】

令和3年度

令和4年度

評価項目	項目ごと	全体	項目ごと	全体
就職率の向上が図られているか	適切	ほぼ適切	適切	ほぼ適切
資格取得率の向上が図られているか	適切		適切	
退学率の低減が図られているか	やや不適切		ほぼ適切	
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	適切		ほぼ適切	
卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育活動の改善に活用されているか	ほぼ適切		ほぼ適切	
コメント記入欄	<p>○年々、特性のある学生の入学が多くなり、教員の様々な角度でのアプローチにもかかわらず、退学を余儀なくされる事案もある。特性のある学生への支援の在り方を探る必要と保育者としての資質に関して免許取得には厳しい学生も存在する。</p> <p>○この数年、一年次の退学者が1.5%程度である。</p> <p>○休退学者数を減らしたい思いで、面談や自宅訪問、保護者との連携等を行っており、担任負担は多い。防げなかった場合のダメージが大きい。学科のサポートはどこまでお願いできるのか？</p> <p>○通信制やサポート校の出身者も受け入れるので、中途退学に繋がりがやすい。</p> <p>○卒業後のキャリア教育として社会人が仕事に生かすための知識やスキルを学ぶリカレント教育の導入も検討したい。</p>		<p>○卒業生の動向把握は、学生支援室が丁寧に把握されていると思う。その分、負担もあるのでは。</p> <p>○卒業後のキャリア形成を育むため、卒業1年後にカミングホームを実施していたが、現在は中止にしている。○特性のある学生や単位制、N校等の学生も多くなり、学力の低下が著しく感じられる。入学しても、教員のサポートのみでは解決できない基礎学力の低い学生率が多くなっている。一方、学習能力が高い学生への後押しもしたいところである。</p>	

【改善のための方策】

コメント記入欄	<p>○発達障害のある学生一人一人の在り方は異なる。特性を見極め専門的学びも深めながら、その学生の将来像も共有できればと考える。働ける場所や担える仕事等。</p> <p>○退学の主な理由は保育者に対するイメージと入学後の学習とのギャップや人間関係であることがうかがえる。そのため、保育者の仕事の重要性と意義についても伝える必要がある。</p> <p>○担任業務の分散化が可能か？学生40名を担当1人での抱いは厳しい。特に一年生。改善の方向を望む。</p> <p>○全日制の公立私立高校からの受け入れと社会人の受け入れに邁進したい。</p> <p>○教員免許更新制度講習が廃止になるため、卒業後の教育をどのような形で展開する化を考え直す機会としたい。</p>		<p>○今年からコロナへの対応が緩和されるため、カミングホームの再立ち上げを検討。</p> <p>○教員が学生の特性を見極め、専門的学びも学生なりの歩みで深めながら、働ける場所、担える仕事内容等共有できるようにしたい。</p>	
---------	--	--	---	--

【関係者評価】

学修成果に関する評価【案】	評価項目	チェック欄	<p>以前にも増して入学前の職種理解と学習内容の浸透を図る必要がある。</p> <p>教員免許更新講習が廃止となることもあり、卒業後のキャリア教育として社会人が仕事に生かすための知識やスキルを学ぶリカレント教育の検討導入のが必要と思われる。</p>	<p>社会人が仕事に生かすための知識やスキルを学ぶリカレント教育の検討導入のが必要と思われる。</p>
	適切			
	ほぼ適切	○		
	やや不適切			
	不適切			

5 学生支援

【現状と問題点】

令和3年度

令和4年度

評価項目	項目ごと	全体	項目ごと	全体		
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	適切	ほぼ適切	適切	ほぼ適切		
学生相談に関する体制は整備されているか	適切		適切			
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	ほぼ適切		適切			
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	やや不適切		やや不適切			
課外活動に対する支援体制は整備されているか	やや不適切		やや不適切			
学生の生活環境への支援は行われているか	やや不適切		やや不適切			
保護者と適切に連携しているか	ほぼ適切		ほぼ適切			
卒業生への支援体制はあるか	適切		適切			
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	ほぼ適切		ほぼ適切			
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	ほぼ適切		ほぼ適切			
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	ほぼ適切		やや不適切			
コメント記入欄	<p>○体調を崩した学生の安心できる休息の場の確保が必要。学生の特性と思春期にみられる心の揺れや心のバランスを崩しがちな学生への対応が早い段階で必要。</p> <p>○訓練生を含め、ひとり親の場合は実習中の子どもの預け先に困る場合もある。</p> <p>○1学年1クラスの体制となり、丁寧に学生に係れているのかと担任としては気になる。</p> <p>○就職支援は担当1人で行っており就職時期になると負担が大きくなっていると感じる。学生生活指導も教員間の連携を密に取ることを実施されと考える。</p> <p>○学生の環境への支援。体調不良の学生が休養するための衛生的な場所の設置。旧ピアノレッスン室の空調等の設置による環境整備。</p> <p>○体育系の教員、学科長クラスのリーダー不在。</p> <p>○学生の健康管理を行う組織体制が弱い。生活環境の支援と同じく保健室の使用率を向上させること。養護教員やカウンセラーの導入がほしい。</p>		<p>○学生の環境への支援、体調不良の学生が休養するための衛生的な場所の確保。旧ピアノレッスン室の空調等の設置による環境整備が必要。</p> <p>○近年、生理痛のひどい学生も多く、それに伴う腹痛、頭痛等の訴えも多くなっている。体調を崩した学生が安心できる休息場所の確保が望まれる。</p> <p>○専任教員でも担任ができる人材が少ない。若い世代の職員を求む。</p> <p>○保健室の確保及びカウンセラーの常駐の必要性を感じる。カウンセリングのできる非常勤講師(※個人名修正)のおかげで専門的な相談ができて感謝。</p>			

【改善のための方策】

コメント記入欄	<p>○日々の学生への援助に細やかで迅速な対応が求められるが、そのための教員の余裕がない状態で後手に回りやすい。</p> <p>○若い世代の教員を入れないと体力的にも精神的にも教員の疲労度が高く、きめ細かい指導が難しくなっている。以前のように、職員数の改善と他の2校の職員数との人数比を調査してほしい。</p> <p>○就職支援の人数補充。学生生活の支援、指導の連携強化。</p> <p>○旧レッスン室に小型の電気ストーブなどの設置も冬期の環境改善に繋がる。まず、私たち職員、学校が校訓を実践していきたい。</p> <p>○現在、コロナ禍での行動記録などの健康チェックは担任だが、保健室とカウンセラーの導入によりその教員の業務とすれば担任の負担軽減につながる。担任はつぶれそうなほどストレスを感じており、湿疹もできるほどの状態。</p>	<p>○旧レッスン室に小型の電気ストーブなどを設置するのも冬季の環境改善につながると思う。</p> <p>○少ない教員間で、心身の不調を訴える学生の情報を共有しながら、その時に手の空いている教員が、担任と連携して対応していく。</p> <p>○そろそろ10年以上経過している卒業生を本校の職員として招くルートを確立したい。</p> <p>○26号講義室の近くに、体調不良の学生が一時的に休める場所の確保が必要と感じます。</p>
---------	--	--

【関係者評価】

学生支援に関する評価【案】	評価項目	チェック欄	学生の健康面を支援する上でのハード面と人員のサポート強化が急務と思われる。より良い教育の実施に向けての阻害要因となっていないか心配である。	学生の健康管理・課外活動・生活環境への支援、さらには教員の確保、社会人への対応に課題がある。
	適切			
	ほぼ適切	○		
	やや不適切			
	不適切			

6 教育環境

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	令和3年度	項目ごと	令和4年度
		全体		全体
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	不適切	やや不適切	やや不適切	やや不適切
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	ほぼ適切		やや不適切	
防災に対する体制は整備されているか	やや不適切		ほぼ適切	
コメント記入欄	<p>○施設の老朽化における甚大な被害が予測される。危険箇所の周知を徹底し補強工事を行ってほしい。</p> <p>○実習指導におけるシミュレーションを行うための模擬保育室が必要である。耐震施設設備完備か不明、老朽化も目立つ。</p> <p>○教育環境の改善。コンクリートが朽ちて剥がれている所や老朽化しているところが多く、地震等の災害が発生した時の学生の安全が心配される。</p> <p>○保育室というか、遊び道具等を設置してシミュレーション可能環境部屋が必要。以前にあったと言われるが、以前も教員が自前の道具を寄贈したのであって、学校が購入したわけではないと聞く。</p> <p>○建物が古い安全面での不安が大きい。マイクなどの不具合の発生率が高い。</p> <p>○50年以上経過した建物だから耐震化などいろいろな面で心配。</p> <p>○古い校舎でもWifi環境やワイヤレスマイクなど少しずつ改善されてきたので、次は旧ピアレッスン室の空調の整備に期待。</p>		<p>○建物の老朽化により、安全面の不安が大きい。</p> <p>○危険箇所の周知の徹底と補修工事が進みにくい。</p> <p>○毎年の避難訓練は、参加学生も真剣に取り組んでいる。災害時には、幼稚園、リハビリと協力して避難すると予想されるので、3施設の連携について確認が必要だと思う。</p> <p>○旧ピアレッスン室は老朽化もあり、冷暖房も完全とは言えない。</p>	

【改善のための方策】

コメント記入欄	<p>○計画性・実行性のある取り組みを期待したい。</p> <p>○2または3号講義室の隅で良いので、保育実技のためのコーナーを作れないか。</p> <p>○Cで保護者の使用のお手洗いにペーパーホルダーがあると良い。</p> <p>○建物の耐震検査、建具窓ガラス等の安全確認、網戸の設置、マイクなどの確認、避難経路消火器・AED設置場所の確認 放送設備改善。</p> <p>○本部からの工事着工計画と指示が必要。</p> <p>○実習期間の見直し。現在、教育課長が動いており、遅くとも令和5年度から実施できるように他の教員も手助けしつつ実現したい。</p> <p>○空き教室の活用、模擬保育室等、遊び道具類等の設備を完備した部屋がほしい。</p> <p>○リハのOTのレクリエーションの備品類を借りて保育室の代替にしたい。また、日常生活部屋も借りることが可能にしてほしい。</p>	<p>○旧ピアレッスン室の空調の設置が必要。</p> <p>○災害時の保護者への連絡方法、連絡先の情報、帰宅方法など職員間で共有する。</p> <p>○計画性を持たせ、少しずつでも実行してほしい。</p> <p>○建物の耐震調査、安全確認、網戸の設置 避難経路 消火器 AED等の設置場所の掲示、放送機器の改善。</p>
---------	--	--

【関係者評価】

教育環境に関する評価【案】	評価項目	チェック欄	以前から教育環境については老朽化の一言に尽きる。改善に向けての計画実行を望む。	老朽化が進み、修繕を行っているが、その他改善すべき箇所については、優先順位をつけて計画的に行っていく必要がある。
	適切			
	ほぼ適切			
	やや不適切	○		
	不適切			

7 学生の受入・募集

【現状と問題点】

令和3年度

令和4年度

評価項目	項目ごと	全体	項目ごと	全体
学生募集は適正に行われているか	ほぼ適切	ほぼ適切	適切	ほぼ適切
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	適切		ほぼ適切	
学納金は妥当なものとなっているか	ほぼ適切		ほぼ適切	
コメント記入欄	<p>○他校の学生募集の取組みで参考になるものは取り入れて行きながら、他校との差別化を意識する必要がある。</p> <p>○学生募集における卒業生のロコモも重要なファクターなため、効果的な活用方法を考える必要がある。</p> <p>○ガイダンスは最近学科長がすることが多く、昨年度は自分も授業等で都合がつかず一度も協力できなかったことを反省している。</p> <p>○募集を行うに際し、他の養成校のプレゼント類とどう価値のものがない。</p> <p>○OCについて高校生や社会人にPRできていると感じる。あとは費用対効果を算出し、効率の良い広報活動に繋がると良い。</p>		<p>○他の養成校では入学金の免除が始まっているため、本校への入学者が減少している。</p> <p>○現役高校生とあわせて学び直しを希望する社会人に対する募集も必要。</p> <p>○他校との差別化と優位性を全職員が認知し、さらに強化する体制を構築する。</p>	

【改善のための方策】

コメント記入欄	<p>○保育者を目指すという明確な気持ちのある学生募集を望みたい。</p> <p>○同窓会組織や受験生を持つ世代の卒業生に本校に足を運んでもらうなどのPRをしたらどうか。</p> <p>○ガイダンス等には可能な限り協力してゆきたい。</p> <p>○入学金免除</p> <p>○パンフレットが2年に一度の更新となったので、変更箇所や新しい取り組みについてその都度、対象者へ伝達してゆく。</p>	<p>○入れるところに入学したいという学生ではなく、保育者になるために努力を惜しまない学生募集を望む。</p> <p>○SNSを活用して授業の様子、就職の状況、学納金等の支援制度などを周知する。また、これまで多数の社会人経験者が卒業している実績もアピールする。</p> <p>○本校も入学金免除を検討してほしい。</p>
---------	---	--

【関係者評価】

学生の受入・募集に関する評価【案】	評価項目	チェック欄	<p>学生募集に卒業生のロコモ等を活用する手段がとれないか、検討してみてはどうか。以前あった同窓会誌の復活や紹介制度の検討確立などの実施。</p> <p>近隣学生に「対する積極的な「保育の魅力」のアピールや社会人の「学び直し」のニーズを取り込む必要がある。</p>
	適切		
	ほぼ適切	○	
	やや不適切		
	不適切		

8 財務

【現状と問題点】

評価項目	項目ごと	令和3年度	項目ごと	令和4年度
		全体		全体
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	やや不適切	やや不適切	ほぼ適切	適切
予算・収支計画は有効かつ妥当なものといえるか	やや不適切		適切	
財務について会計監査が適正に行われているか	適切		適切	
財務情報公開の体制整備はできているか	やや不適切		適切	
コメント記入欄	<p>○大規模な投資は控え、教職員の経費削減の努力で収支改善に取り組んでいるが、収入に比べ支出が多い部門で有るため、恒常的に黒字にならない部門である。令和3年度も収入は増加したものの、支出(特に経費)が増加したため、前年比で赤字幅が1,680,000円増加した。</p> <p>○財務面の教職員理解が進まないため、非常に厳しい評価となった。教職員からは以下のような意見が述べられた。</p> <p>○本校の財源基盤が盤石とはいえない。</p> <p>○資料がないのでわからない。適正、不適正と判断する根拠や資料がないので、不適切と評価します。</p> <p>○予算化が厳しいこと。</p> <p>○財務に関しては資料もなくわからない。</p> <p>一教員には予算等収支や計画を拝見する機会がないので、公表する機会があると良い。</p>		<p>○財務に関しては、ホームページに公開されている情報で知ることができるが、その他については回答する情報が不足している。</p> <p>○本校の学生減少もあり、財務基盤が安定しているとは言い難い。</p> <p>○令和4年度決算は、経常利益925千円の黒字決算であったが、高速道路工事後の施設受管(19,291千円)が含まれており、これがなければ、17,829千円の赤字決算であった。5ヶ年計画4年目の目標に対しても8,453千円未達となり、厳しい結果となった。ただ、保育福祉専門学校は、建物等管理資産が多く、減価償却費も多いため赤字体質なのはやむを得ないと理解している。</p> <p>○次年度は5ヶ年計画の最終年度のため、是非計画目標を達成してもらいたい。</p> <p>○財務および学校の収支についての教職員の理解を得るための努力はまだ不足している。今後も少しでも理解してもらえようように努める。</p>	

【改善のための方策】

コメント記入欄	<p>○会議では、なかなか具体的な案が出ないようであるが、今後の教育環境の整備を維持改善していくためにも収支の改善は必須である。学生数を定員通り集め、休退学者を減らし、支出を抑える取組により、少しでも収支改善を目指したい。</p> <p>○他校同様財務に対する教職員の理解不足がある。財務に関する説明が必要と思われる。なお、会議での教職員の意見は以下のとおりである。</p> <p>○幼教の歴史を大事に考え、健全化に向けた取り組みを教員に見えるようにしてほしい。</p> <p>○会議等で財務が厳しいという声度々起こるが、学生も環境整備費めいたものを支払っているため、学生の学習環境の保証をすべきと思う。</p> <p>○特に改善するには不可能なことばかりが感じられる。</p> <p>○会計監査もいつどこで実施されているかも知らない。事後報告でも構わないと思うので、書面で確認できるものがほしい。</p> <p>○北九州等近隣地域での競合校である短大四つのうち、入学定員率が負けたのは折尾にある1校しかない。本校は二番目に多い学校である。なんとか教育環境の整備を行うことで、今後の獲得数の維持増加に向けて取り組みたい。</p>	<p>○幼教の歴史を考え、発展できる施策を考えたい。</p> <p>○学生確保に努め、財務基盤の安定化を図ることが急務である。</p> <p>○今期の収支改善のため、①休退学者の減少による収入減を防ぐ、②令和6年度入学生増のため募集活動に努める、③経費節減に努める</p> <p>○次年度はさらに教職員の財務に関する理解を深める機会を増やしたい(職員会議の活用等)。</p>
---------	--	---

【関係者評価】

財務に関する評価 【案】	評価項目	チェック欄	財務面は適切に行われ、HPでの公表は実施しているが、教職員への説明が不足している。財務諸表を見て内容を理解するスキルはすぐに身につくものではないと思うが、少なくとも今以上の説明の機会が必要ではないか。	財務に関して、職員の共通認識を図る必要を感じる。とにかく一人でも多くの学生の確保に努め、財務基盤の安定化を図らねばならない。
	適切	○		
	ほぼ適切			
	やや不適切			
	不適切			

9 法令等の遵守

【現状と問題点】

令和3年度

令和4年度

評価項目	項目ごと	全体	項目ごと	全体
法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	適切	適切	ほぼ適切	ほぼ適切
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	適切		ほぼ適切	
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	ほぼ適切		ほぼ適切	
自己評価結果を公開しているか	適切		適切	
コメント記入欄	<p>○この評価が少しでも意味あるものに、またより良い方向で改善されるよう望む。</p> <p>○個人情報秘匿が必要な学生について各部署の情報共有が不足することがあった。</p> <p>○自己評価の実施後の問題点の改善を本当に行ってほしい。</p> <p>○50年の劣化現象と隣り合わせの危険個所の増加。具体的な箇所は次長には報告済み。毎年危険個所は申し上げている。大丈夫という見解だが、事故の際の責任は学校自体にはない。</p> <p>○外部との教育課程編成委員会もコロナ禍で開催できていない期間があるために、適正な運営が確認できていない。</p>		<p>○専修学校設置基準について学則上にも記載されている副校長の役職があれば業務上での相談がしやすいと感じる。</p> <p>○評価のための評価にならないよう望む。</p>	

【改善のための方策】

コメント記入欄	<p>○わかり安く伝えてほしい。</p> <p>○学校の守秘義務について管理者と情報共有の方法を定める必要がある。</p> <p>○自分自身もできることから改善を図る。</p> <p>○課題等の報告は本部まで上げているので、あとは本部の決断のみ。</p> <p>○今後はリモート通信による実施も検討できればと思う。また個人情報に関しては、教員間で情報の共有はできているのか、今後も引き続き実施してゆきたい。</p>	<p>○自分事と意識できる情報の共有が必要。</p> <p>○自己評価は必ずやっている。第三者評価を取り入れるべきかと思われる。</p>
---------	---	--

【関係者評価】

法令等の遵守に関する評価【案】	評価項目	チェック欄	法令等の遵守は適正に実施されているが、評価に対する改善策への取り組み進捗、実施検証を必要とする。	法令等の遵守は適正になされているが、評価について職員間で合意形成の必要がある。
	適切			
	ほぼ適切	○		
	やや不適切			
	不適切			

10 社会貢献・地域貢献・リカレント教育

【現状と問題点】

令和3年度

令和4年度

評価項目	項目ごと	全体	項目ごと	全体
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	やや不適切	ほぼ適切	やや不適切	ほぼ適切
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	やや不適切		やや不適切	
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	適切		適切	
コメント記入欄	<p>○2年という縛りの中で学生の時間的ゆとりもなくバイトやコロナ禍でなかなか厳しい状況である。</p> <p>○地域における本校の知名度は高いとは言えない。</p> <p>○この地元地域でも本校の名前を知っていてもどこにあるのか場所を知らないなど、存在の周知がなされていない。</p> <p>○コロナ禍で不可能だった。</p> <p>○この情勢下で社会貢献を考慮したボランティア活動は難しい。人と接することの少ない、リスクの少ない、貢献の仕方を検討する。</p>		<p>○コロナ禍のため、ボランティア活動の推奨に消極的になっている。</p>	

【改善のための方策】

コメント記入欄	<p>○全体で取り組めるボランティア活動を考える。</p> <p>○フリーペーパーやSNS、メディアを活用しての募集につなげたい。たとえば、CMソングを作ったらどうか。</p> <p>○コロナ禍であるため、できることが限られてくるが、養成校として積極的な社会貢献、地域貢献は今後必要であると感じる。本校の存在を知ってもらうことが学生募集に繋がってゆかないか。</p> <p>○少しずつ附属幼稚園から始める。</p> <p>○環境整備としての清掃活動は感染リスクが少ないため駅前や学校周辺での清掃作業を取り入れる。学友会発案が望ましい。</p>	<p>○ボランティア担当者を中心に、感染状況をみながら学童保育や地域の行事などの情報提供を行う。</p> <p>○コロナ措置緩和のあることから、今年から学友会主導にてのボランティア活動を再開しても良いと考える。</p> <p>○2年間という縛りはあるが、全体で取り組めるボランティア活動ができればと考える。</p>
---------	---	---

【関係者評価】

社会貢献・地域貢献・リカレント教育に関する評価【案】	評価項目	チェック欄	地域への学校周知のためにも、学校資源の活用を行ってみたいかどうか。	社会貢献・地域貢献としてのボランティア活動を再開する時期に来ている。今後に期待する。
	適切			
	ほぼ適切	○		
	やや不適切			
	不適切			